

第10回日本在宅看護学会学術集会 開催報告

2020年11月14日、15日「多様化するニーズに応える在宅看護」をメインテーマに、第10回日本在宅看護学会学術集会をWeb開催しました。COVID-19感染症が拡大したため安全第一を考え、Web開催に変更しています。

Web開催ではありましたが、晴天に恵まれ、564名にご参加いただきました。会長講演、基調講演、シンポジウム4題、パネルディスカッション1題、教育セミナー・ワークショップ1題はオンライン配信しました。市民公開講座1題は一定期間オンデマンド配信しました。そして12の交流集会のうち11はZoomのミーティング機能を使ってのWeb発表でした。どの会場においてもWeb上で活発な意見交換が行われました。また、64の一般演題のうち、26演題はWeb発表し、参加者との質疑応答もWeb上で行いました。

学術集会が無事開催できましたことは、多くの関係者の皆様、会員の皆様、参加くださった皆様のご協力のおかげと、深く感謝申し上げます。

またWeb発表の一般演題の中から、JANHC10 Awardとして、優秀演題を選出いたしました。ここにご報告させていただきます。おめでとうございます。

<優秀演題>

氏名	演題名
濱谷雅子	訪問看護師が療養者の足病変のケアへの意欲を引き出すプロセス